



こんにちは

じょうほ

上保 まさたけ

2017.3.16 No.61

日本共産党

杉並区議会議員

お問い合わせ

携帯：090-2177-0296

Mail：johomasatake@

gmail.com

Twitter：@johomasatake

HP：http://johomasatake.jp/

です

### 杉一小複合化計画等の見直しの中間報告

## 2者択一の結論を急ぐのではなく、時間をかけて区民と議論をつくすべき！

杉一小は複合化ではなく

良好な環境となる方向性を示す

阿佐谷地域の集会施設を杉一小に統廃合する杉一小複合化計画が、杉一小に隣接するけやき屋敷に河北病院が移転することにより計画の見直しを余儀なくされています。その見直し案の中間のまとめが先日、区役所で開かれました。

見直し案（B案）は、杉一小を移転後の病院跡地に、区民センターはけやきプールの敷地にそれぞれ移転させ、産業商工会館は、現杉一小の敷地に建てる予定の複合ビルに入るプランとなっています。

杉一小に関しては、現在の案（A案）に比べると、複合化ではなく単独で整備し、校庭も地上になり、現状のものより広くなるなど、以前より良好な環境となる案を示しています。

2者択一の選択を急ぐのではなく

時間をかけて区民的な議論を

意見交換会では、地域住民から「プールはどこに残せないのか」「病院と小学校を交換する案は考えられないのか」などの要望や疑問が出されました。

区は3月に一定の方向性をだし、4・5月には計画化するとしていますが、住民からは「杉一小の土地がいくらで、病院の土地はいくらか示すべきだ。」「A案の策定の時期から区民の意見が取り入れられていない」という率直な意見と共に、「寝耳に水の話であり、関係施設の周辺住民にまず先に話をすべきでは」という声など、区民無視の早急な進め

方に区民から苦言が出されています。

この見直し案はまだ、発表されたばかりであると同時に地権者などとの話し合いの最中でもあります。2者択一の結論を区民に迫るのではなく、時間をかけてでも区民的な議論を成熟させ、そこで出た意見を計画に反映させ、地域住民に理解をえる努力を尽くすべきです。

### 次回意見交換会

日時

3月28日(水)  
19時～

場所

杉一小体育館



B案

産業商工会館

阿佐谷区民センター

## 和泉学園の運営等に関する検証結果（下）

# 不十分な検証をもとにした次なる小中一貫校の強行は許されない！

前回、区内初となる施設一体型小中一貫校「和泉学園」の運営等に関する検証結果（2015年度）の問題点として、施設一体型小中一貫校では6年生が最高学年としての意識を持ちづらいうい子どもの発達への悪影響が浮き彫りとなっていることを取り上げました。後半の今回は、その他の問題点を取り上げます。

### 現場の教職員の実態を度外視

第二の問題点は、今回の行われた検証では、現場の教師の実態が何一つ書かれていないことです。

和泉学園の開校当初、カリキュラムをどう作るか、小・中お互いの授業を邪魔しないように休み時間や専科の教室移動などをどう配慮するかなど、現場の教師が、遅くまで残って改善を図る努力をしていたと聞いています。また、栄養士が一人体制で9学年の給食を管理し、連日超過勤務になっている実態も党区議団に寄せられています。こうした現場の教職員の実態が何一つ検証されていないのは異常極まりないことです。

### この検証をもとに

### 次なる一貫校の強行は許されない

その他にも、検証結果の考察がともも考察とは言えない内容になっていることや、学校行事の総括が多面的に行われていないなど、不十分な点が多すぎます。このことは、委員会の質疑で教育委員会自身が認めています。

このように、施設一体型小中一貫校の矛盾が浮き彫りとなると同時に、検証は極めて不十分であり、小中一貫校が普通の小中学校よりも優れているとは到底言えません。このことから次なる小中一貫校である高円寺の計画を強引に進めることは許されません。

設問	対象	学園	結果と考察
例 児童生徒の自己肯定感が高まった。	小学部	65%	学園の肯定率は中学部の方が高い。
	中学部	80%	

これが考察と言えるのか!?

※検証結果は区ホームページから見る事が出来ます。

## 子育てダイアリー

### 地域の防災訓練に参加

3月5日に阿佐谷地域の防災訓練が行われ、長男と共に参加してきました。

長男は、消防博物館で買ったヘルメットをつけて参加すると、地域のみなさんが寄ってきて褒めてくれるので、照れながらもご満悦。

初めて放水訓練も体験でき、大満足の様子でした。



お父さんと初めての放水訓練

## 電柱地中化に伴う路面舗装が完了

### 阿佐谷南三丁目の青梅街道歩道

阿佐谷南3丁目の区役所周辺から天沼陸橋までの青梅街道の歩道が、電柱地中化完了に伴う路面舗装できれいに整備されました。

同路面についてはこの間、区民から老朽化による危険が指摘されていただけに、地域からは安堵の声が上がっています。



日本共産党都議団は昨年末に行った「2017年度予算編成に対する要望」の中で、震災対策の抜本的強化策として、電柱の倒壊による道路閉塞を防止するため電線類の地中化の促進を求めています。同時に今後も都道の舗装管理を引き続き求めます。